

一般質問 議:議員/理:理事者

- 少子化と「応援金115(いいこ)」について
 - リチウム蓄電池等の処分について
- その他の質問
・二次交通について



森かよ子 議員

議 応援金115の事業目標で、10年後の婚姻数の増加を「年間45組×115%の51組を目指す」としているが、結婚に関して勝山市として現状を把握することと同様に「勝山市の未婚者が求めている事を知る」ことが大切ではないか。その上で、様々な施策を考えることが必要だと思う。応援金115において、年間6万円の支給と既存の支援で出生数や婚姻数を増加する事は可能か。また他に施策を考えているか伺う。

理 応援金115だけで出生数や婚姻数が増加するとは考えていないが、本事業により、子育て世代に選ばれる魅力的なまちとなることで、結果的に出生数や婚姻数の増加に繋がると考えている。

他の施策としては応援金115の効果を最大限に生かすため、庁内で115プロジェクトを立ち上げ、情報発信を強化し、新規事業のアイデア出しなど多角的な視点から施策を検討している。

出生数や婚姻数増加は行政だけでは達成できないため、企業や地域住民と連携・協力しながらまちづくりを進めていく。

議 モバイルバッテリーや充電式小型家電による火災などのニュースが報道される中、充電式小型家電を市が回収することはできないか。

また、処分方法を明確に周知できないか伺う。

理 現在は回収していないが、4月の環境省通知で自治体での分別回収が求められており、今後、大野・勝山地区広域行政事務組合とも相談しながら検討を進める。

処分方法についてはごみカレンダーのレイアウト変更を検討しており、分かりやすい周知に努めていく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 中学校再編に向けた課題について

その他の質問

- ・文化政策の方向性や文化活動支援について ～文化をまちづくりの柱に～
- ・猟友会の射撃練習場と後継者育成について



浦上雄次 議員

議 工事中は勝山高校の生徒が騒音などでストレスを感じないように十分な配慮をお願いしたい。

また、生徒数の増加に伴い、いじめ問題の対策や撲滅に向けてどのように考えているのか。

使用予定のない勝山高校プール跡地は、県と協議の上、駐車場としての活用を検討してはどうか、市の見解を伺う。

理 新中学校建設工事では、勝山高校や周辺住民への配慮を第一と考え、低騒音・低振動型の機械を使用し、勝山高校のテストなどの行事予定を事前に把握して工事日程を調整するなど、生徒への影響を最小限に抑えられるよう努めている。

いじめ対策としては、各学校で児童生徒に対する教育相談週間の実施やアンケートによる聞き取り、「SOSを出せる教育」などを通じて未然防止に取り組んでいる。また、スクールソーシャルワーカー等専門職の配置により、児童生徒や保護者が気軽に相談できる体制を整備。市教育委員会では、各学校から毎月「いじめ状況調査」の報告を受け、対策や対応を確認している。SNSいじめには、警察や弁護士と連携した授業や、家庭でのスマートルールの作成を通じて意識を高めている。また、いじめた側、いじめられた側への対応については、双方への丁寧な聞き取り、感情に寄り添う指導を行い、いじめ行為が止まった後も見守りを継続している。

勝山中学校の開校に伴う駐車場の確保については、高校プールを解体し跡地活用を検討したが、県からの解体予定がないとの回答と、生徒の安全確保の観点から取りやめ、ジオアリーナ周辺の活用を検討している。